

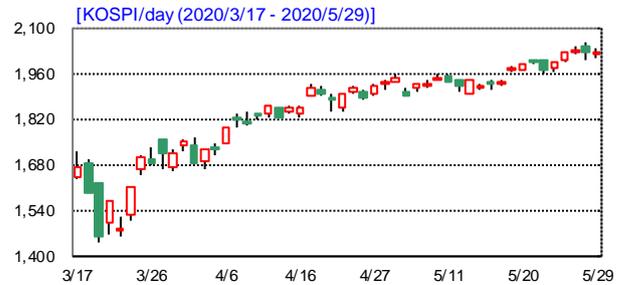


【韓国】 総合指数は週間で3.0%高と続伸、今週は上値が重い相場か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で3.0%高と大幅に続伸。週明け5月25日から3連騰となり、27日終値は3月6日以来約3カ月ぶりの高値を更新した。各国が新型コロナウイルスの感染拡大を受けた制限措置を緩和し、景気回復への期待が高まった。ただ、中国政府が制定を進める「香港版国家安全法」を巡って米中間の緊張が高まり、投資家心理が悪化。ソウル近郊のネット通販物流センターで発生した集団感染も嫌気され、28日は4日ぶりに小反落した。韓国銀行（中央銀行）は同日、政策金利を過去最低水準に引き下げ、新型コロナの感染拡大で2008年の世界金融危機より深刻な打撃を受けるとの見通しを示した。29日は節目の2000ポイント付近で買い戻され、小反発。今週は米中対立の先行き不透明感が強い中、上値の重い展開か。

▼指数チャート

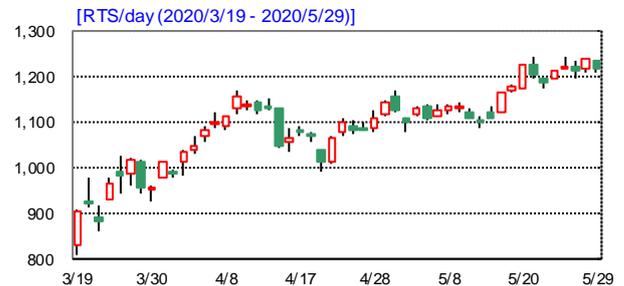


【ロシア】 RTS 指数は2.6%高と続伸、今週は原油や欧米株価をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.6%高と続伸。世界各国でロックダウンの解除が進み、景気回復期待が高まる中、欧米株の上昇や原油相場の大幅続伸が支援となった。週明け25日は欧米株の上昇や原油高を好感し、RTS 指数は前営業日比2.1%高と3日ぶりに反発。26-27日はもみ合ったものの、28日は経済活動再開による景気回復への期待で2.4%上昇した。29日はトランプ米大統領の会見を控え、米中関係悪化への警戒感が台頭。欧州株安を受けて反落し、週の上げ幅を縮めた。RTS 指数は26日に一時1243.96ドルまで上昇し、3月6日以来の水準を回復した。個別では、鉄鋼のノボリパツク製鉄所、金融のズベルバンク・オブ・ロシア、エネルギーのロスネフチなどが大幅高となった。今週は原油相場や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



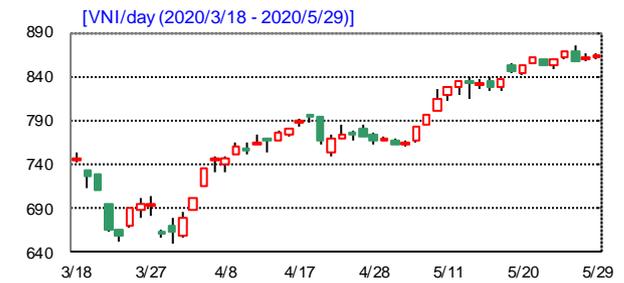
【ベトナム】 ベトナム指数は1.4%高と4週続伸、今週は米中関係に左右される展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.4%高と4週続伸。経済活動の再開を受けて欧米株が堅調に推移したことが支援となった。週明け25日は東南アジア市場が軟調となる中、決算発表への期待などからVN 指数は前営業日比で0.7%高となり、26日も金融株が買われて続伸した。27日は金融株に利益確定売りが強まり反落したものの、週後半は経済活動の再開を背景に欧米株価が上昇したことを好感し、VN 指数も続伸した。指数は27日に一時875.35ポイントまで上昇し、3月9日以来の高値をつけた。終値では26日の869.13ポイントが3月6日以来の高値となった。週間ベースでは金融のベトナムバンク、ベトナム投資開発銀行、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料などの上昇が指数を押し上げた。今週は米中関係や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 4.6%高、経済活動再開への期待で 4 日続伸

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で4.6%高と続伸。5月月間では0.8%高。先週は経済活動再開への期待感から買い優勢の展開が続き、週末まで4日続伸した。連休明けの26日は、金融株が指数上昇をけん引し、前営業日比1.8%高と反発。その後も堅調な値動きが続き、29日には終値で4月7日以来の高値を更新して引けた。今週は2日に5月のCPIが発表される予定。ジャカルタなどで、新型コロナウイルス感染症の収束後の「ニューノーマル」が導入されるとの見通しが報じられる中、具体的な指針が示されれば、株式相場の追い風になりそうだ。1日は「パンチャシラ（建国5原則）の日」の祝日で休場。

▼指数チャート

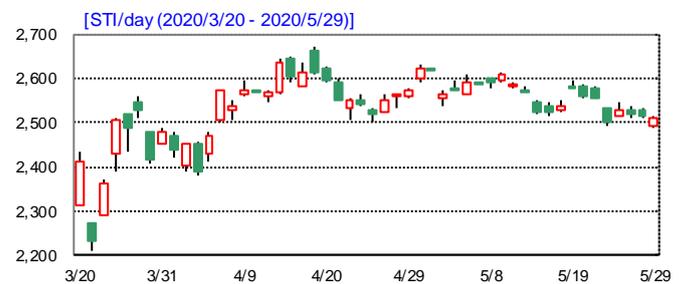


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.4%高、景気刺激策第4弾を好感

ストレーツタイムズ指数は4日間の取引で0.4%高と4週ぶりに反発。5月月間では4.3%安。先週は連休明けの上昇が指数を支えた。26日は政府が第4弾の景気刺激策を発表した上、4月の鉱工業生産が前年同月比13.0%増と市場予想を大幅に上回ったことが好感され、指数は前営業日比1.2%高と4日ぶりに反発。一方、27日はシンガポール取引所（SGX）の株価が米MSCIとのデリバティブ取り扱い契約の大部分を終了する決定を受けて急落し、指数下落を主導すると、その後もじりじりと下値を広げ、29日まで3日続落した。今週は3日に5月の製造業PMI、5日に4月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.0%高、経済再開への動きを好感

SET指数は週間で3.0%高と3週続伸。5月月間では3.2%高。先週はおおむね堅調な値動きだった。週初の25日は前営業日比1.3%高と3日ぶりに反発。その後も買い優勢の展開が続き、27日は4月の鉱工業生産が前年同月比17.2%減と低迷したものの影響は小さく、指数は3日続伸した。28日は当局が新型コロナウイルスの感染拡大による今年の失業者数が最大で200万人に達するとの見解を示したことが嫌気されて反落したが、29日は夜間の外出禁止時間が1日から短縮される決定を受けて反発して引けている。今週は1日発表の5月のCPIに対する市場の反応が焦点。3日は王妃誕生日の祝日で休場となる。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.5%高、今週は 4 日に 4 月の貿易統計発表

クアラルンプール総合指数は3日間の取引で2.5%高と3週続伸。5月月間では4.7%高。先週は連休明けから3日続伸と堅調だった。27日はゴム手袋メーカーのハルタレガとトップ・グローブが指数上昇をけん引し、前営業日比1.0%高と反発。28日は前日のNYダウが終値で2万5000ドル台に乗せた流れで続伸すると、29日は前日に中国が「香港国家安全法」の制定方針を採択したことを受け、米中の緊張が高まったものの影響は小さく、終値で3月6日以来の高値を更新して引けた。今週は4日に4月の貿易統計が発表される予定。外部要因では中国の5月の公式製造業PMIと財新製造業PMIが意識されそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。